

**2020年度
環境監視等調査計画以外の
環境調査結果について**

(カムリウミスズメ, カラスバト, ミサゴ, クロサギ)

**2021年8月
中国電力株式会社**



その他の環境調査について

2

環境監視計画に基づき実施しているハヤブサ, スナメリ, カクメイ科の貝類などの調査以外に, 以下の4種について, 環境監視委員会等の指導を得て調査を実施したので, その結果を報告する。

調査項目	調査目的
カンムリウミスズメ	■ カンムリウミスズメの重要性・希少性を踏まえた専門家の見解を尊重し, 計画地点周辺海域における生息状況について調査した。
カラスバト	■ カンムリウミスズメと同様に, 環境保全に万全を期すために, 計画地点及びその周辺島嶼における生息状況について調査した。
ミサゴ	■ 鼻繰島において, 過年度にミサゴの繁殖行動を確認したため, 他の調査に併せて繁殖状況を調査した。
クロサギ	■ 鼻繰島において, 過年度にクロサギの繁殖行動を確認したため, 他の調査に併せて繁殖状況を調査した。

カムリウミスズメ(概要)

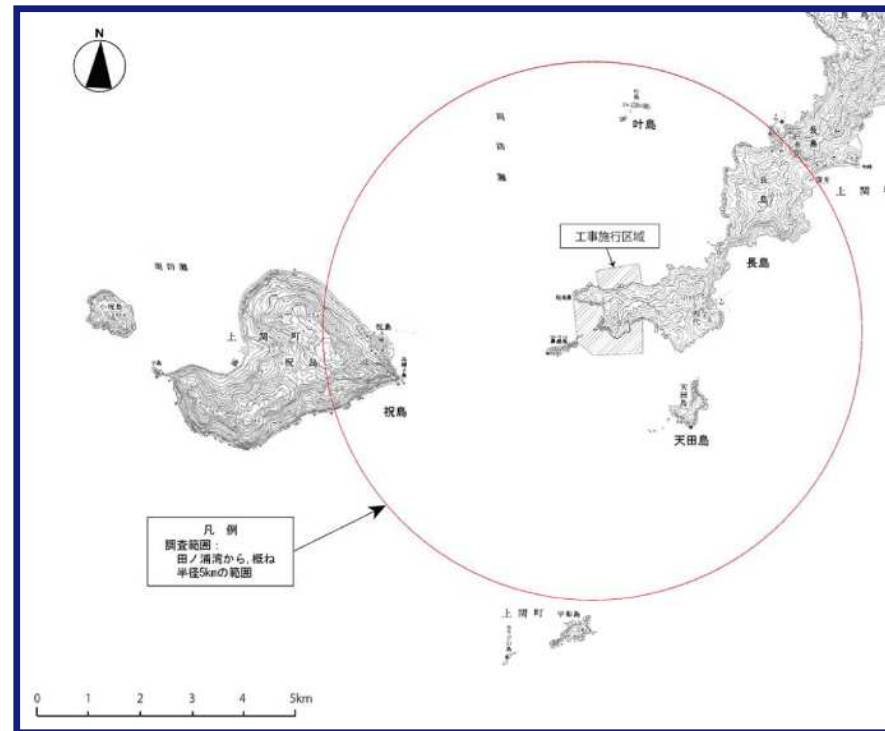
【調査概要】

※新型コロナウイルス感染状況により5月, 1月調査は中止

項目	内容
調査期間	2020年4月～2021年3月(9月, 11月を除く) [1回/月]※
調査内容	発電所計画地点を中心として半径概ね5km程度の海域において, 生息状況を調査する。

【調査場所】

計画地点周辺海域
(概ね半径5km内)



カムリウミスズメ(結果)

【生息状況調査の結果】

- ・カムリウミスズメを、3回延べ5個体を確認した。
- ・なお、今回の調査では、幼鳥は確認されなかった。
- ・工事施行区域内での出現はなく、繁殖を示唆する情報は得られなかった。

海上調査結果(2020年4月~2021年3月)					
調査月	確認個体	確認位置	調査月	確認個体	確認位置
4月	0個体	—	10月	0個体	—
5月	中止		11月	/	
6月	0個体	—	12月	0個体	—
7月	0個体	工事施行区域外	1月	中止	
8月	3回 5個体	工事施行区域外	2月	0個体	—
9月	/		3月	0個体	—
合計			3回, 5個体		

※新型コロナウイルスの影響により、5月・1月の調査は中止した

※ ○内の数字は、確認個体数

非開示

確認箇所については、
本種保護のため非公開とする。

2020年度 カムリウミスズメ確認位置

カラスバト(概要)

5

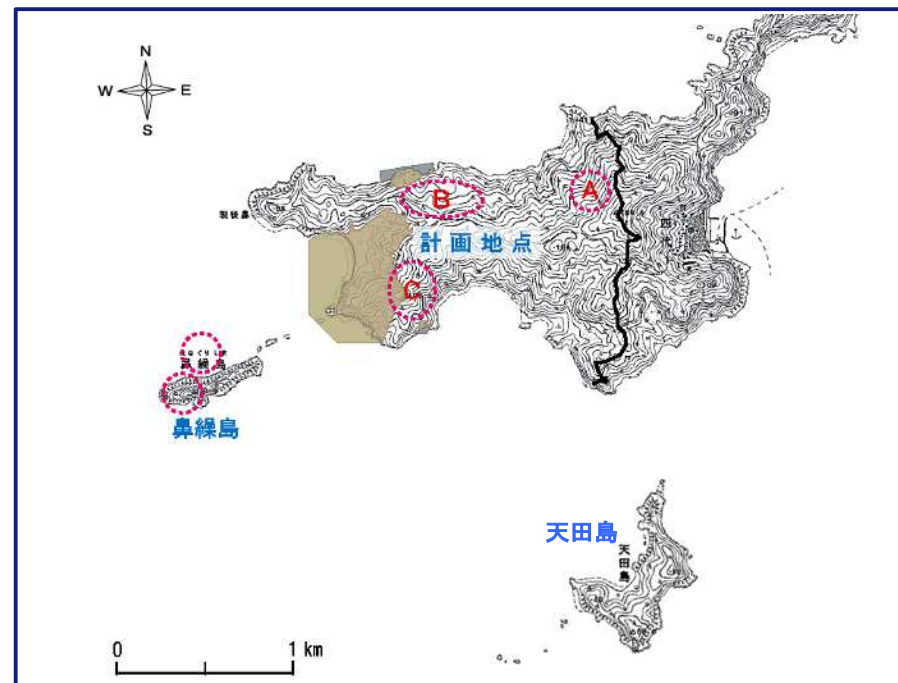
【調査概要】

※新型コロナウイルス感染状況により4月、5月、1月調査は中止

項目	内容
調査期間	2020年4月～2021年3月〔1回/月〕※
調査内容	発電所計画地点および周辺島嶼(鼻繰島)を対象に、生息状況を調査する。 なお、天田島については、これまでの調査結果から十分情報収集できていると判断し、2013年度以降は調査を中断している。

【調査場所】

計画地点および周辺島嶼(鼻繰島)



カラスバト(結果)

【生息状況調査の結果】

- ・計画地点においては、計画地点Aにて、8、10月に鳴き声を各1回確認した。
なお、鼻繰島においては、12月に姿、3月に鳴き声、7、8、9、10月に姿および鳴き声を確認した。

結果(2020年4月~2021年3月)	
計画地点	・8、10月に鳴き声を確認
鼻繰島	・7、8、9、10、12、3月に姿や鳴き声を確認

※新型コロナウイルスの影響により、4月、5月、1月の調査は中止した。

カラスバト



【2020年10月21日 鼻繰島】

非開示

確認箇所については、
本種保護のため非公開とする。

鼻線島におけるミサゴの繁殖状況について(概要)

7

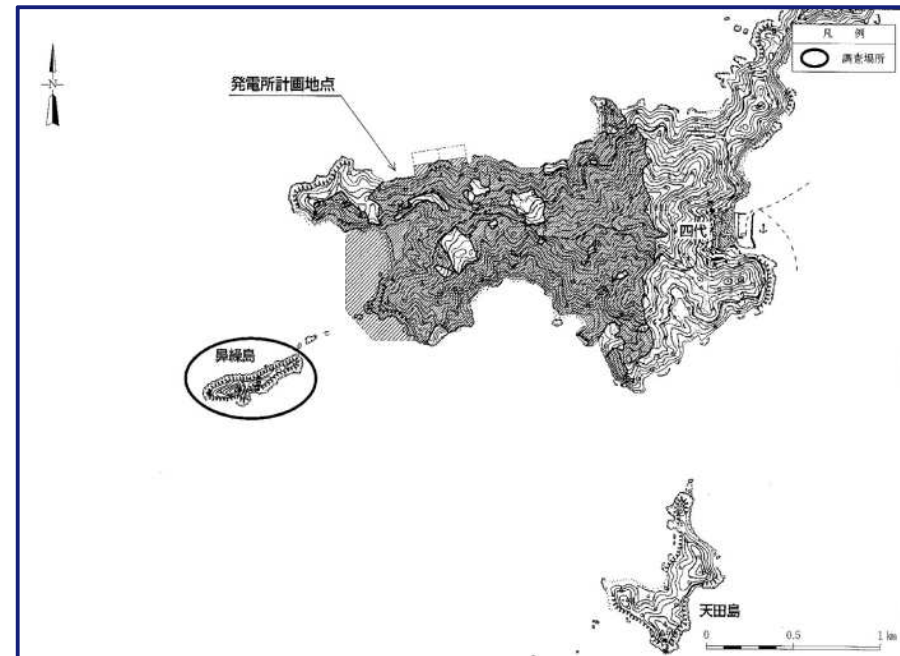
【観察の概要】

※新型コロナウイルス感染状況により5月調査は中止

項目	内容
期間	2020年4月～2020年7月 〔4～6月:2回/月, 7月:1回/月〕※
観察内容	2018年3月に、ハヤブサの営巣地がある鼻線島において、ミサゴ(準絶滅危惧)の繁殖行動を確認したため、その後の繁殖状況を継続観察した。

【調査場所】

鼻線島



ミサゴの繁殖状況 確認結果

【繁殖状況の確認結果】

・2020年7月に3羽の幼鳥の巣立ちを確認できたことから本年度は繁殖が成功した。
なお、今後もミサゴの繁殖が継続して行われる可能性があるため、引き続き情報収集を図る。

ミサゴのヒナ3羽



【2020年6月2日 鼻繰島】

非開示

確認箇所については、
本種保護のため非公開とする。

【鼻繰島の拡大図】

鼻繰島におけるクロサギの繁殖状況について(概要)

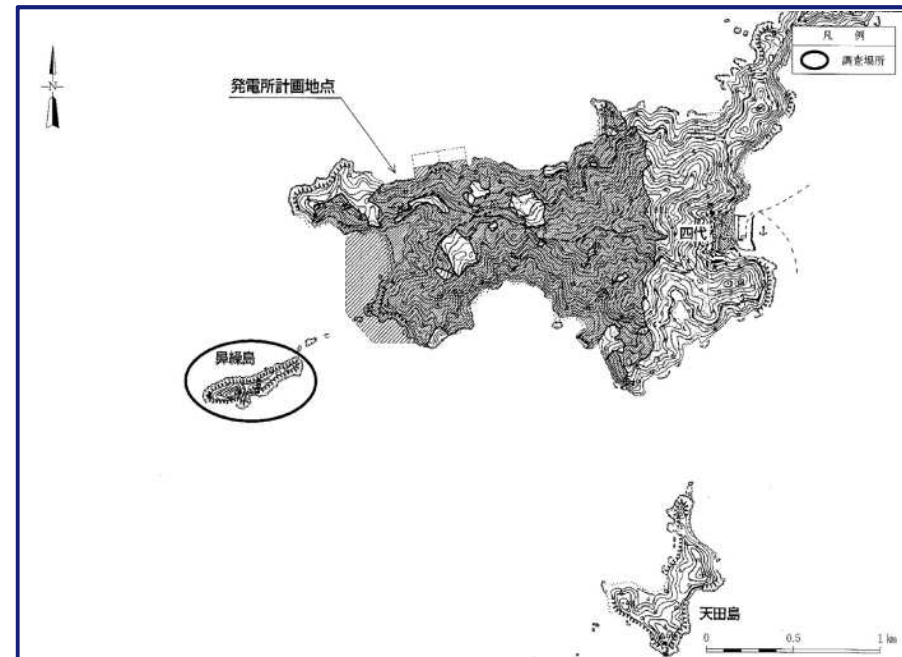
【観察状況の概要】

※新型コロナウイルス感染状況により5月調査は中止

項目	内容
期間	2020年4月 ~ 2020年7月※
観察内容	2019年5月に、ハヤブサの営巣地がある鼻繰島において、クロサギ(山口県RDB:絶滅危惧Ⅱ類)の繁殖行動を確認したため、その後の繁殖状況を継続観察した。

【調査場所】

鼻繰島



クロサギの繁殖状況 確認結果

【繁殖状況の確認結果】

・2020年7月に鼻線島の岩礁で2羽の幼鳥を確認した。

なお、今後もクロサギの繁殖が継続して行われる可能性があるため、引き続き情報収集を図る。

クロサギの幼鳥2羽



【2020年7月16日 鼻線島】

